

令和3・4年度 昭島市研究奨励校 富士見丘小学校

学校教育目標

人権尊重の精神を基調に、予測不可能な課題に対峙し、協働して未来を創造する社会の一員として、持続可能な社会づくりに貢献する資質・能力を育むため、SDGsの目標に関連させた学習を展開し、心身共に健康で創造性に富み、調和のとれた児童を育成する。

目指す児童像

自ら学びに向かい、創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導くことができる児童

研究主題

創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童の育成

— 言語力・課題解決力・情報活用力を働かせた探究的な学びを通して —

研究仮説（目標）

学習の基盤となる言語力・課題解決力・情報活用力を育成することで、実際の社会や生活で生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、答えのない課題に最善解を導き、新たな価値を創造することができる資質能力を身に付けることができる。

〔言語分科会〕

育てたい資質・能力

学校図書館を活用し、すべての学びの基盤となる言葉の力を育成する。

取組みの柱

- 学校図書館の利活用
- 知的活動（論理的思考）としての言語活動
- 感性・情緒の基盤としての言語活動
- 伝え合いの道具としての言語活動

〔課題解決分科会〕

育てたい資質・能力

自分で考え自分の言葉で表現し、対話や協働を通して、納得解を生み出す力を育成する。

取組みの柱

- 自主的な問いづくり
- 実際に自分の目で見えるフィールドワークの充実
- 思考ツールの有効な活用
- 次の課題につながる振り返り・自己評価

〔情報分科会〕

育てたい資質・能力

ICTを活用した情報活用力を育成し、論理的に思考し、新しい価値を創造する力を養う。

取組みの柱

- 情報機器の基本的操作の系統的な育成
- 情報活用の実践力
- プログラミング・プログラミング的思考
- 情報モラル教育の推進